

ひろげる *expand*

つなぐ *join*

かえる *change*

1
2012

2011 年 12 月 25 日発行
通巻 157号

コラム

「持続可能な地域活動のために、 自身の変革を!!」

有限会社オズ(海島遊民くらぶ) 代表取締役 江崎 貴久

NPO物語 Vol.33

特定非営利活動法人 シルバーサービス憩いの汀

理事長 西口 和代

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



「持続可能な地域活動のために、自身の変革を!!」

有限会社オズ（海島遊民くらぶ） 代表取締役 江崎 貴久

観光とは「光を観る」ことである。地域の光を輝かせることができるのは、そこに暮らす「住民」である。そして私たちは「観光から感幸へ」を合言葉に、地域の様々な人々が連携、協働し、皆が幸せを実感できる地域づくりを目的とした「観光」を行っている。

こうした協働の形で、理解し合わなければならないことはプロジェクトの取組ルールの違いである。このルールは、私企業とNPOや行政といった、団体の形態による目的の違いにも起因している。企業はどんな場合であっても費用対効果が求められる。これまでは、企業がNPOや任意団体を資金面でもサポートする形が多かった。しかし、私たちのような社会的企業や小規模の地元企業は、活動の資金面でのサポートは難しい。しかし、地域問題を課題として取り組むのか、ビジネスチャンスとして取り組むのかの違いはあれ、地域を良くしたいという目的は共有できる。だからこそ、求める効果は必ずしも売上だけではなく地域がどれだけ良くなったかも効果であると捉えることで形態の違う団体とも協働できる。地域プロジェクトを協働することで、人材と時間をコストとして提供するのである。そのためスピード感がなければ地元の小さな企業が地域活動に人材や能力提供を続けることは資金的援助をするよりずっと難しくなるのである。

その上で、できることは多くある。実際、私たちもNPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターや鳥羽市社会福祉協議会とともに年一度バリアフリーの自然体験を行っている。また、同NPO法人の運営会議では、企業が共に考えることでNPO法人ではあっても今後の持続可能な経営を着実にしていくために、自主財源確保の議論は進みつつある。

今、企業も非営利団体も、他との連携が可能な体制や運営の仕組みづくりが必要不可欠となっている。それぞれの変革が、幸せに楽しく連携し続け効果を出していく鍵である。

助成金情報



まちづくり



国際



福祉



災害ボランティア



市民活動



まちづくり

第20回「住まいとコミュニティづくり活動助成」公募

受付期間 1月13日（金） 必着

対象団体 営利を目的としない民間団体（NPO法人または任意団体）。
※応募要件…団体として、代表責任者が明確であること。意思決定のしくみが確立されていること。予算決算を含む会計処理が適切に行われていること。

対象活動 ①社会のニーズに対応した住まいづくり
②住環境の保全・向上
③地域コミュニティの創造・活性化
④安全で安心して暮らせる地域の実現
⑤その他、豊かな居住環境の実現
※詳細は HP 参照

助成金の額 1件当たり100万円を上限とする

応募方法 HPより申込書様式をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の書類を添付して郵送。
※E-mail および Fax による送付は不可

問い合わせ先 一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団 助成係
〒107-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階
Tel 03-3586-4869 Fax 03-3586-3823

HP <http://www.hc-zaidan.or.jp/josei/josei20/index.html>

対象活動

アジア、特に日本が第二次大戦中に多大な被害を与えた国々の民衆と日本人の人々が交流し、経験・知見の共有を通して共に成長・発展しようとする諸活動。
①在日外国人（出稼ぎ）労働者と日本人労働者との交流・協力活動

②社会的差別を受けている人々同士の交流と協力
③民衆技術、地縁技術、伝統技術に携わる小農民や関係者同士の交流・相互研修
④民衆による平和運動

※詳細は HP 参照

助成金の額

総額 300～400万円、1件当たり30～100万円

応募方法

HPより「申請書作成ガイドライン」をダウンロードし、その内容に沿って申請書を作成、そのほか指定されている書類を添付の上、デジタル・ファイルをE-mailで、さらに申請書類原本を郵送で提出。

問い合わせ先

公益信託アジア・コミュニティ・トラスト事務局
〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13
アジア文化会館1階 ACC21内
Tel 03-3945-2615 Fax 03-3945-2692

HP

act-info@acc21.org

HP

<http://www.acc21.org/act/act-index.html>



国際

ACT 特別基金「アジア民衆パートナーシップ支援基金」助成案件募集

受付期間 1月16日（月） 正午

対象団体 ・アジアにおいて教育、社会開発等の公益活動に従事する国内外の民間非営利団体。
・事業を行うにあたって、責任ある実施体制が整っていること。
・団体としての活動実績が3年以上あること。



福祉

第7回アステラス製薬（株）患者会支援 活動資金助成

受付期間 1月31日（火） 当日消印有効

対象団体

患者・患者家族の会、患者会の連合組織、サポート団体など

対象活動

1. 会の自立や役員・リーダー・相談員の養成が期待できる活動
①リーダー研修、ピアサポート研修等の研修企画・研修用資料の自主作成

自分がそだち
人がそだち
組織がそだつ

23年度 市民活動(支援)センター 情報交流学習会 あらためて協働を問い直す ～行政、NPO、双方の立場から～ 相手を知るための3つのステージ！集大成

よりよい協働のために、「ステージ1 行政の組織文化を知ろう(9月7日)」「ステージ2 NPOの組織文化を知ろう(9月30日)」を終え、その集大成「ステージ3」を開催します。
「NPOへ プロ意識を持て! 行政へ 企業もNPOもパートナー」
鋭い切り口で「本当の協働とは何か?」あらためて問い直します。ぜひご参加ください。

ステージ3 あらためて協働を問い直す ～行政、NPO、双方の立場から～

基調講演 中川 幾郎
帝塚山大学法学部、大学院法政策研究科 教授
日時 2012年2月7日(火) 13:30～16:00
場所 みえ県民交流センター 交流スペース
(津駅前 アスト津3階)
参加費 無料・要予約 **定員** 50名

申込み・お問い合わせ先

みえ NPO センター・ワーカーズコープ
下記いずれかの方法で、氏名、ご所属、ご連絡先など必要事項をお知らせください。
Tel 059-222-5995
Fax 059-222-5971
✉ center@mienpo.net
HP <http://www.mienpo.net/center/>

- ②医療講演会・勉強会の開催、啓発イベントの開催
 - ③相談会・交流会・交流イベントの開催など
2. 大災害に対する会の取組への助成
①会の再建・活性化の事業、緊急体制の整備など
※詳細は HP 参照

助成金の額 総額 850万円、1案件(団体)につき 50万円を上限とする。
応募方法 HPより活動資金申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、簡易書留郵便にて送付。
問い合わせ先 アステラス製薬株式会社 総務部 患者会支援担当
〒103-8411 東京都中央区日本橋本町 2-3-11
Tel 03-3244-5110 Fax 03-5210-6611
HP <http://www.astellas.com/jp/csr/community/kanjakai/koubo.html>

災害ボランティア

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成事業

受付期間 1月31日(火) 必着
対象団体 被災地をはじめ全国で、東日本大震災で被災された方々への救援・支援活動を行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人。
対象活動 東日本大震災で被災された方々を支援するボランティア活動全般。被災地における活動だけでなく、全国の被災者の避難先、原子力発電所事故に伴う住民の避難先における活動も対象とする。
(すでに活動が終了した部分についても、さかのぼっての応募を可能とします。) ※詳細は HP 参照
助成金の額 ①短期(概ね1カ月未満)の活動の場合…50万円以内
②中長期(1カ月以上)の活動の場合…300万円以内
応募方法 HPの「ホームページから応募する」ボタンをクリックし、応募フォームに必要事項を入力して応募。その他の必要提出書類は郵送もしくは宅配便で送付。
問い合わせ先 社会福祉法人 中央共同募金会企画広報部(ボラサポ担当)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2
新霞が関ビル 5階
Tel 03-3581-3846 Fax 03-3581-5755
✉ support@c.akaihane.or.jp
HP <http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>

市民活動

全日本冠婚葬祭互助協会 第13回社会貢献基金助成

受付期間 2月29日(水) 必着
対象団体 次の条件を満たす、非営利団体(法人格の有無不問)又は大学、研究機関など。
・定款に準ずる規約を有し、自ら経理し、監査することができる会計機能を有すること。
・団体等の主たる事務所を日本国内に有すること。
・団体等の意思を決定し、今回申請する活動を執行する体制が確立していること。
・団体の活動実績(今回申請する活動または類似した活動)を3年以上有すること。
※詳細は HP 参照

- 対象活動** ①テーマ「婚礼、葬儀など儀式文化の調査研究」の趣旨に合致する活動
②高齢者・障害者・児童福祉活動
③環境・文化財保全活動
④国際協力・交流活動

助成金の額 総額 1000万円、1件につき 200万円を上限とする。但し、研究助成については、100万円を上限とする。
応募方法 HPより申請書類(指定様式)をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の提出書類を添付して郵送。
問い合わせ先 社団法人全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 運営事務局
〒105-0004 東京都港区新橋 1-18-16 日本生命新橋ビル 9F
Tel 03-3596-0061
HP <http://www.zengokyo.or.jp/social/promotion/no01.html>

✉ E-mail HP ホームページ

NPO から寄せられた募集とご案内

まちと暮らしを楽しむ!

松阪のコミュニティカフェ 「ぴのまちカフェ」でトークライブ開催!

1月から3月にかけて、8人のゲストを迎え“聞き耳”と題したトークライブを開催します。“聞き耳”は、まちを楽しく、暮らしを楽しくしようと試みている人たちのおしゃべりに耳をすませる催しです。飲みものとささやかなお菓子をご用意してお待ちしています。

- 日 時** ① 1月19日(木)
「まちゼミで商店街をにぎやかに」
松井洋一郎さん/岡崎まちゼミの会
- ② 1月21日(土)
「地域のカフェの育ち方」
濱田昌平、伊藤征志/ぴのまちカフェ
- ③ 1月28日(土)
「津のまちTVが人を結ぶ」
津のまちTV
- ④ 2月10日(金)
「みんなでつくる市民農園にチャレンジ」
祖父江恵美さん/笑びすや農園
- ⑤ 2月25日(土)
「ロボットでまちを楽しく!」
堀田武志さん/株式会社ロボネット
- ⑥ 3月9日(金) ※ゲスト未定
(いずれも) 19:00 ~ 21:00
※開場 18:30 / 会場内で交流会も行います
- 場 所** ぴのまちカフェ (松阪市日野町788 カリヨンプラザ 1 階)
- 参加費** ① 1,000 円 ②~⑥ 500 円
※要申込み
- 主 催** ぴのまちカフェ (特活 Mブリッジ)
- 問い合わせ** Tel 0598-23-8400 (福島)
Fax 0598-23-8488
- ✉** pinomachi@gmail.com
- HP** http://pinomachi.com/

受講者募集!

「接遇マナー・傾聴」研修会

少しでも親切な対応や、話を十分聞く姿勢などの心がけは、相手の信頼を得ることにつながります。今回の研修では、接遇マナー、電話対応、傾聴について学び、理解を深め、向上を図る機会にさせていただきたいと思います。

- 講 師** 吉川由美さん 株式会社Will Staff
- 日 時** 1月26日(木) 13:30 ~ 16:30
- 場 所** みえ県民交流センター ミーティ

ングルームA・B

アスト津 3 階(津駅東口隣接ビル)
受付業務、相談窓口での対応、
電話対応等をされている方

- 対 象** 受付業務、相談窓口での対応、
電話対応等をされている方
- 参加費** 500 円 (受講料)
- 応募方法** 所属団体・氏名・連絡先を下記
お問い合わせ先まで
- 応募締切** 1月25日(水)まで ※先着 20 名
- 主 催** みえ市民活動ボランティアセンター
- 問い合わせ** 〒514-0009 津市羽所町 700
アスト津 3 階
Tel 059-222-5995(田中・谷)
Fax 059-222-5971
- ✉** center@mienpo.net
- HP** http://www.mienpo.net/center/

活動資金づくり説明会

映画“たんたらホイ!”を使って 活動資金を作りませんか?

たんたらホイ会は、2011 年 4 月 22 日より全国各所にて映画“たんたらホイ!”の上映により、収益金を東日本に義捐している団体です。著作権者よりこの映画自体を義捐して頂いておりますので、皆様の活動資金作りにご活用頂ければと思います説明会を開催いたします。

【説明会内容】

1. 映画“たんたらホイ!”を使っての活動実績の紹介と活用方法
2. 映画“たんたらホイ!”上映会 (英語の字幕付き)
3. 映画の活用システム (手続き) の説明

- 日 時** 1月29日(日) 13:30 ~ 16:00
- 場 所** アスト津 3 階 イベント情報コーナー
- 対 象** NPO 法人、ボランティア団体、
市民活動団体、非営利法人
- 参加費** 無料 ※要申込み
- 主 催** たんたらホイ会 三重たのしいかい支部
- 問い合わせ** Tel 059-226-0005 (宮田)
Fax 059-229-4158
- ✉** its221@ztv.ne.jp

第6回手作り甲冑教室参加事前説明会

～あなたも手作り甲冑を作って津まつり高虎時代絵巻に参加しよう～

紙など日用品を使って甲冑を作る教室に参加するための事前説明会です。参加者の体験談や、甲冑の試着体験もあります。お気軽にご参加下さい。

- 日 時** 1月29日(日) 13:30 ~ 15:30
- 場 所** 津センターパレス 地下1 階
市民オープンステージ

参加費 無料 ※要申込み

応募条件 ・高校生以上の方
・完成した甲冑を着用して津まつり時代絵巻及びその他の催しに積極的に参加することができる方
・2 ~ 9 月まで月 2 回ほど集まって作業のできる方

応募方法 氏名・年齢・住所・Tel 番号・メールアドレスを明記の上、Fax、郵送、E-mail にて申し込み

応募締切 1月25日(水)
※応募者多数の場合は選考による

問い合わせ (特活) 三重ドリームクラブ
〒514-0027 津市大門 7-15
津センターパレス 3 階
Tel 059-271-9978 (加藤)
Fax 059-255-2257

✉ qzo1341004@yahoo.co.jp

HP http://dreamclub.sub.jp

CSR に生かせるヒントを学ぶ

東京と三重のソーシャル・イントラプレナーが語る CSR の進め方

企業の内部から社会課題の解決に取り組む、ビジネスとしても成果を上げている人のことを「ソーシャル・イントラプレナー」と呼びます。今回は、都心部を中心にその講師を務めておられる玉沖貴子さんと、三重でソーシャル・イントラプレナーとして動きだされている地元メディア勤務の勝田茂樹さんの対談会を開催します。活動内容や工夫している点、困った場合の対処法などを聞くことができ、実際の仕事にすぐに生かせるヒントが学べる対談会です。

- 日 時** 2月17日(金) 19:00 ~ 21:00
- 場 所** Mブリッジ事務所 (松阪市市民活動センター付近)
※詳しくは参加希望者にお伝えいたします

対 象 CSR や、ソーシャル・イントラプレナーに興味・関心がある方

参加費 3,000 円 (1 ドリンク + オードブル付) ※要申込み

主 催 (特活) Mブリッジ

問い合わせ Tel & Fax
0598-26-0508 (安原・中川)

✉ csr@tsutaetai.jp
HP http://m-csr.jimdo.com/

広報支援の成果発表

～デザイン力で NPO に活力を！～ 「書き描き展」

「書き描き展」とは、NPO の広報力アップのために活動する「実践！ 書き描き塾」が実施する展示イベントです。6カ月間の広報支援の中で仕上がった「ロゴマーク」や「イメージキャラクター」などの成果物の発表と展示を行います。また、県内のデザイン・アート系 NPO を招き、「行政・企業を動かすデザインのチカラ（仮）」をテーマに特別講演も開催予定。「NPO・デザイン・広報力」そんなキーワードが気になった方、是非ご来場ください！

◎先着 30 名様にオリジナルデザイン缶バッジをプレゼント！

◎会場内で、名刺交換を兼ねた交流会も行います。

【講演会】

・県内のデザイン、アート系 NPO を予定

【発表&展示団体】

- ・(特活) 伊賀の伝丸
- ・市民活動団体 Flower
- ・(特活) めいわ市民活動サポートセンター

日時 2月18日(土) 13:00～

場所 松阪市市民活動センター
(松阪市日野町 788 カリヨンプラザ 3 階)

参加費 無料 ※要申込み

主催 (特活) Mブリッジ 広報支援事業部

問い合わせ Tel 0598-26-0108 (三上)
Fax 0598-23-8400

✉ kakikaki.mbridge@gmail.com

HP http://kakikaki.jimdo.com/

武将隊・イベント

安濃津戦国武将隊メンバー募集！

甲冑を着用して寸劇、殺陣などのパフォーマンスに出演しませんか。武将隊、イベントに興味のある方をボランティアで募集します。2月下旬のイベントに向けて共に勉強会・練習会・企画会議を行いイベントを一緒に作り上げましょう。※この事業は美し国おこし・三重「物語おこし」の受託事業です。

※寸劇、殺陣などのパフォーマンス未経験者も、専門家による講習を受けてご参加いただけます。

対象 高校生以上(興味のある方はお問い合わせください)

問い合わせ (特活) 三重ドリームクラブ
Tel 059-271-9978 (加藤)
Fax 059-255-2257

✉ qzo1341004@yahoo.co.jp

HP http://dreamclub.sub.jp

人を集める企画力を身につけませんか

「企画力」「広報力」 スキルアップセミナー

『人が集まる！行列ができる！講座、イベントの作り方』の著者であり、申し込み倍率 3.3 倍のカリスマプランナー、牟田静香さんが直接指導！講座・イベントに人が来ないと悩んでいる方、企画の立て方やチラシづくりの基礎を学びたい方、これらの悩みに達人がお答えします！

1 日目【満員御礼続出！人気講座の作り方】
講座の企画からチラシの作り方までを学ぶ基礎編です。

日時 3月10日(土) 13:00～15:30

場所 三重県生涯学習センター 2F 視聴覚室
津市一身田上津部田 1234
Tel 059-233-1111

参加費 無料(託児無料…先着 10 名)

募集人数 100 名(先着順)

応募期間 1月10日(火)～

2 日目【思わず手にとるチラシの作り方】
Word2007 を駆使してチラシ作りの達人技を習得するパソコン実習講座です。

日時 3月11日(日) 10:00～15:00

場所 三重県生涯学習センター 2F
LL コンピューター室

対象 ・チラシ作りの経験がある、または予定のある方
・Word での文字入力がスムーズ

ズにできる方

参加費 無料(託児なし)

募集人数 20 名(抽選)

応募期間 1月10日(火)～2月17日(金) 必着

応募方法 電話、郵便、Fax または E-mail
で、講座名・氏名・〒と住所・Tel 番号を連絡。

主催 三重県、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」、鈴鹿市市民団体エンパ会

問い合わせ 三重県生活・文化部 男女共同参画・NPO 室 男女共同参画グループ
〒514-8570 津市光明町 13 番地
Tel 059-224-2225
Fax 059-224-3069

✉ iris@pref.mie.jp

HP http://www.pref.mie.lg.jp/IRIS/HP/index.htm

✉ E-mail HP ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました！

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mail または Fax にて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- (2) E-mail は件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ

原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

http://www.mienpo.net/center/

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ NPO センター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資！

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

詳しくは TEL059-354-7130 (審査部) まで
URL: http://www.miebank.co.jp

“地域とともに みなさまとともに”



三重銀行

理念と歩みから学ぶ

NPO物語 Vol.33

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を紹介していきます。「がんばって生きてきてよかった、ありがとう」って
気持ちに寄り添いたい特定非営利活動法人 シルバーサービス憩いの汀
理事長 西口 和代「身近な者が人生の最後で受けた心の傷」
に触発されて

特定非営利活動法人シルバーサービス憩いの汀（以下、「憩いの汀」と略）の創設の経緯とミッションについて教えていただけますか。

連れあいの母が認知症でした。その後、ガンになり病院で3か月お世話になって、認知症の周辺症状とよばれる、いわゆる問題行動が出ました。大変迷惑をかけたのですが、後、1～2か月生きられるかどうかという人に、「迷惑です、出てください」と言われました。家族としてかなり辛い立場でした。なんとか最期まで置いてもらえましたが、大変な思いをしました。病院はそのような場所ではなかったのです。この経験から、在宅所を始めようと思い立ちました。認知症の人には、少人数で家族的な場が必要と考えたからです。

多くの人は80年あるいは90年生き、そして終わりを迎えます。その間、どれほどの苦しみや悲しみを経験し、生きるでしょう。「本当にいろんなことがあったけれど、生まれてきて良かった、がんばって生きてきてありがたかった」と言って死んでいきたい、誰もがそう思うはずです。そのように最期を迎えてもらうお手伝いがしたいと考えるようになりました。認知症の方々に対しては、まだまだ差別もあるし、理解が得られない事も多いです。難しいことがたくさんあるけど、少しでも改善されればと思って13年近くやってきました。

一人の人間が大切にされないということが、近年ますます進んでいるように思え、危惧しています。国や地方行政は、一人ひとりを見ず、統計のような、数字ばかり見えています。

ミッションの実現については、40点ぐらいです。たぶん死ぬまでやっても100点はないでしょう。一人ではなにもできません。老いるということを人生の折り返し地点ぐらいで考え、話し合うシステム。ボランティアをして介護を経験するシステムも必要です。行政も私たち福祉関係の事業所も毎日のいろんな業務に追われて、一番大切なことがなござりになっているように思えます。そういう点では、自分も以前は部外者でした。批判をしていた立場から、今は批判される立場です。

組織を大きくするよりも中身を充実することが大事

組織については？

女が何かをしようと思うと、「金なし、場所なし、人材なし」というのが大方のところでしょう。そんな中でNPOのこともよく分からないで社協に相談に行き、勧められてNPOという組織を作れたことはありがたい事でした。なにも分からない者がここまで続けて来れたことに感謝です。大きくすることよりも中身を充実すること

とが大事なと思うのです。

それと組織のことで忘れてはならないのは、なにもない初めに助け、協力し、応援してくれた友人、知人、その家族のことです。4名の理事にもずっと支えられてきました。今もそういう人や、会員として助けてくださっている方々に支えられています。ただ年3回(3月、7月、12月)の理事会では、組織としての仕組みは弱く、今後の課題です。

スタッフは常勤10名、非常勤12名、合計22名です。長く勤めてくれているスタッフも多く、1か月に1回、全体研修とミーティングを、食事をしながら行っています。その他、デイサービス協議会や小規模ケアネットワークみえ、三重県社協等々、外部の福祉・医療に関する研修を自分で選んで年3回以上、受講するよう勧めています。

日頃の労務管理、リスク管理については施設や各部署の責任者が行っていますが、3か月に1度の会議で課題の共有等に努めています。

スタッフと同時に後継者育ても私の大きな課題かと。思いが「ない」と事業というのは前へ進んでいかないし、命を預かる仕事だから大変です。事故は忘れたところに起こります。その度ごとに、やっぱり皆気持ちが落ち込みます。大変な仕事をしているんだということも含めて、後継者がどうやっていこうと思っているのか…。今後の夢や展望を話し合い、しっかりと考えていきたいと思います。

認知症の人も家族も一緒に生活できるエリアづくりが夢

将来展望についてお聞かせください。

老いるからあれができない、これができないと、生産的な部分で劣ると思うかもしれませんが、高齢者にしかできない事、見えない物があります。また、介護は、本人の思いや意思を大切に、どうやって最期を迎えたいのか、普段から話し合うことが必要です。自分自身も老いに向かっているわけだから、いいと思うことは取り入れていきたいと思っています。

「活き活きサロン」を月に1回やっています。地域の、まだ介護の認定を受けていない方にも来ていただけます。昼食代金500円をいただいて、食事召し上がっていただいています。介護予防の一環として歌を一緒にうたったり、体操や手品を見せてもらったりしています。今度(10月28日の取材時点で)はクリスマスのトールペイントを作ってもらうんです。それと先週行ってきたばかりですが、1年に1回は観光バスで「汀」の利

用者さんや家族、地域の人も一緒に日帰り旅行に行ってもらおうという取り組みをしています。

地域に根付きたいという気持ちからです。施設が住宅街にあるので、デイサービスの車の行き来など迷惑もかけています。なるべく地域の行事に参加し、まず事業所が地域の役に立てるようになりたいです。

この間は地域で防災の炊き出しがあって、参加させてもらいました。一緒にお互い協力し合っていけたらいいなと思うんです。いわゆる協働、結構ハードルは高いですが、頑張っていきます。

最初の頃からの大きな夢というか思いは、認知症の人も家族の人も一緒に生活できる、場所作りです。ケアを受けながらも家族としての和を崩さないで生活できるエリアをつくりたいと夢見ています。



憩いの汀に遊びに来てくれた園児たちとの交流



ハンドベルを楽しむ

【データ】

〒514-0013	三重県津市海岸町14-20
T E L	059-227-4705
F A X	059-227-5533
E-mail	zbh23dpv@za.ztv.ne.jp
ホームページ	http://www.za.ztv.ne.jp/ikoinomigiwa/
代表者	理事長 西口和代
団体設立年月日	1999年8月1日
NPO法人化年月日	1999年11月8日
会員数	91名
会費	年間2,000円

とぴっくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時取り上げます。

NPO で食べていく

『「NPOで食べていく」ことはできるけど、「NPOで食べさせてもらう」ことはできない。』先日みえNPOセンター主催で開催しましたシンポジウム「思いがたぐ生かしの創造」の中でのシンポジストの意見です。NPOの仕事に就いても、自分の生活を支えるためには主体的に動かなくてはなりません。これは決して楽なことではないと思いますが、入るきっかけとなった人とのつながりや、自分がしてもらったことへの恩返し、自分のやりたいことができるということを支えに、楽しむことさえしながら、いきいきと頑張っていこうという方たちが多いことも事実です。

「やりたいこと」を仕事にできることは幸せなことです。十分ではなくても「食べていこう」と思える仕事を選択する人が増えることは、働き方、働く場の選択肢が増えることになり、人生が豊かになります。主体的に仕事を選び、真摯に取り組むことが、「食べていく」ということと「生きざま」がにつながるということになるのではないのでしょうか。



コーナー

県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

〈Monthly Selection〉

◆ ファンドレイジングが社会を変える

—非営利の資金調達を成功させるための原則

鶴尾雅隆著 発行：三一書房 発行日：2009年4月

◆ NPO サポート・10年の軌跡

—せんだい・みやぎNPOセンターの仕事Ⅲ

設立10周年記念誌

発行：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

発行日：2008年4月30日

◆ 地域におけるNPO支援 10年の総括と展望

—地域変革の支え手として

設立10周年記念誌

発行：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

発行日：2008年4月30日

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか？～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

日時 2012年1月19日(木) 13:30～16:00(予定)

NPOのための無料よろず相談

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は？職員を雇うときの手続きは？助成金をとりたいけれど…

先着順のため、相談日の1週間前までにお申し込みください。

対象 NPO法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

日時 (1) 10:00～11:00 (2) 11:00～12:00
今後の予定：1月10日(火)・2月14日(火)

場所 みえ県民交流センター
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

相談員 NPO法人 みえ NPO センター
代表理事、事務局長、事務局スタッフから内容に応じて

問い合わせ みえ市民活動ボランティアセンター
TEL 059-222-5995

認証した特定非営利活動法人

(2011年11月10日～2011年12月9日認証分)

① 認証団体名 ② 法人事務所の所在地 ③ 活動分野
④ 認証年月日 ⑤ 代表者

① 鳥羽志摩地域家族会みしま会
② 志摩市阿児町甲賀 4455 番地
③ 保健、人権
④ 2011年11月17日
⑤ 理事長 中井 博幸

① 国際ふれあいみんなの会
② 伊賀市小田町 648 番地 11
③ 災害、国際、職業能力、その他
④ 2011年11月17日
⑤ 理事長 長谷川 英雄

① 未来への絆
② 松阪市五反田町二丁目 1326 番地 7
③ 社会教育、まちづくり、環境、人権、子ども
④ 2011年12月2日
⑤ 理事長 中居 正博

① 四日市在宅介護家族会街路樹の会
② 四日市市元新町 4 番 19 号
③ 保健、まちづくり、地域安全
④ 2011年12月2日
⑤ 理事長 美濃部 博美

「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細 5 ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】津市 津市市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 桑名市 桑名市市民活動センター 〈いなべ市〉いなべ市市民活動センター 〈東員町〉とういんボランティア市民活動支援センター 〈四日市市〉四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 亀山市 亀山市市民協働センター 〈鈴鹿市〉市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 〈松阪市〉松阪市市民活動センター/三重中京大学 〈伊勢市〉いせ市民活動センター/皇学館大学 〈鳥羽市〉鳥羽NPOネットワークセンター・結 〈志摩市〉志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター 〈名張市〉名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター 〈伊賀市〉伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 〈尾鷲市〉東紀州コミュニティデザインセンター 〈明和町〉めいわ市民活動サポートセンター 〈南伊勢町〉南伊勢町町民文化会館 〈紀宝町〉紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター『フレンテみえ』/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健康・安心・貢献
東海ろうさん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

R70 VEGETABLE OIL INK

古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。